



重富小学校 学校便り

剣の平

令和7年度 10月号

創立137周年

(重富小HPアドレス)

<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

学校
教育
目標

「剣の平」に誓う 光り輝く重富の子

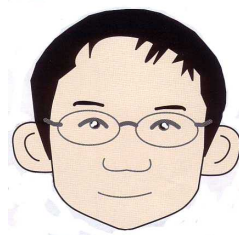
学校キャッチフレーズ

well-beingな学校

小さな出来事だけど 優しい重富小学校の子どもたち

校長 平 千力

まだ暑い日は続いていますが、植物は秋を感じているようです。
毎年この時期は、校門横の桜の木の落ち葉で校門の周りが覆われます。
私は、毎朝、子供たちの登校前に、この落ち葉を掃いています。とても落ち葉が多かった日、かなり時間がかかってしまいました。何人かの男の子たちが登校してきました。すると、その男の子たちは、「校長先生、お手伝いします。」と言って、落ち葉掃きを手伝ってくれました。ランドセルを校門前において、素手で落ち葉を集め、きれいにしてくれました。なんと優しい子供たち。朝から嬉しくなりました。それから、そんな日が4~5日続きました。



また別の日の朝の出来事です。校長室の前の廊下は、よく子供たちが通ります。中学年の子供たちが、校長室前の廊下を通りかかり、「校長先生。おはようございます。」と言いながら通りすぎました。私は、パソコンに向かっていましたが、「おはようございます」と、すぐに反応しました。でも、子供たちは、すでに校長室前を通り過ぎ、私の視界から消えていきました。とても丁寧なあいさつだったので誰だったのかなと思いましたが、校長室の廊下側の窓を通り過ぎていたので誰だかわかりませんでした。しかし、私の声が聞こえたのか、その子供たちは、戻ってきて、窓からひょっこり顔を出して、とびっきりの笑顔で「おはようございます。」ともう一度あいさつをしてくれました。戻ってきたその顔、動作がとても愛らしく思えました。そして、その時の子供たちの心がとても素敵に思えました。

さらに、別の日の朝。私は、校門前でいつものように「おはようございます。」とあいさつをしていました。すると、1年生のある子の足取りがとても重く、校門前で止まっています。きっと、悲しいことがあったのかも知れません。その後ろを6年生の女子が通りかかり、「おはようございます。」とあいさつをして、1年生の横を通り過ぎました。でも、1年生の不安そうな顔に気づいたのか、くると1回転して、1年生の顔の高さにしゃがんで、何も言わず1年生を見つめています。1年生は6年生の顔を見えています。6年生は、優しく1年生の手をとって、校門の中に入っていました。その光景を見て、とても心が温かくなりました。

これは、私が最近見た3つの光景ですが、子供たちをよく見ていると、このような小さな感動が毎日、たくさん、たくさんあります。相手の気持ちになって行動できる重富小の子供たち。なんと素敵なんでしょう。

重富小には、昔も今も変わらず、さわやかな風が吹いています。



「朝日が差し込む 重富小」

